令和６年度

湯沢砂防だより

No.20
令和6年10月25日
国土交通省　湯沢砂防事務所

『命を守る行動のきっかけに』
～ 土砂災害の恐ろしさ と 砂防事業の役割 ～

湯沢砂防事務所では、土砂災害の恐ろしさと砂防事業の役割についてご理解いただくため、10月13日（日）に八色の森公園（新潟県南魚沼市）で開かれた**「土木フェア」**に、土石流の前兆現象、振動、岩がぶつかる激しい音などが疑似体験できる**「土石流3Dシアター」**、砂防事業の役割について学ぶ**「土石流模型実験装置」**を出展しました。

汗ばむような秋晴れの中、多くの皆さまから土砂災害の恐ろしさを疑似体験していただくとともに、砂防事業の役割について耳を傾けていただきました。

この活動が、皆さまのいざという時の情報収集や避難といった**命を守る行動**の一助となれば幸いです。

「土石流3Dシアター」で
土砂災害の恐ろしさを疑似体験

「土石流模型実験装置」で
砂防事業の役割を学ぶ

砂防事業は山奥での砂防堰堤建設がほとんどで、皆さまの目に触れることがあまりなく、その必要性や役割を理解されることが少ないですが、荒廃した山地を放置しておくと土砂災害を引き起こす可能性が非常に高くなります。

尊い生命を奪い、家屋や道路、鉄道を破壊する土砂災害から、人々の暮らしや国土を守っているのが砂防事業です。

引き続き、土砂災害の恐ろしさと砂防事業の役割についてご理解いただくため、「令和６年度新潟県・南魚沼市総合防災訓練　10月20日（日）」に「土石流模型実験装置」を出展します。

令和6年度新潟県・南魚沼市総合防災訓練 - 新潟県ホームページ (niigata.lg.jp)　クリック